

<プレスリリース>

2014年8月5日

プリンセス・クルーズ、新造船を発注 『ロイヤル・プリンセス』クラスの3隻目の客船が2017年就航

カーニバル・コーポレーション& plc(NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下のプリンセス・クルーズは、イタリアの造船会社フィンカンティエリ社と、2017年に就航する新造船の契約を結んだことを発表した。

まだ名前も決まっていない143,000トンの新造船は、総工費約6億ユーロ、乗客定員3,560人を予定しており、世界中の人を魅了してきた『ロイヤル・プリンセス』(2013年就航)と『リーガル・プリンセス』(2014年5月就航)の姉妹船2隻と同様の基本設計となる予定。

新造船には、社交の中心となるアトリウムと複数のレストラン、エンターテインメント施設、ショップ、大人だけの聖域「サンクチュアリ」、屋外で映画鑑賞ができる「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」など、プリンセス・クルーズの優れたゲストサービスを象徴する設備が造られるほか、80%の客室はバルコニー付きとなる。また、ゲストサービスをさらに向上させるため、新たな革新的要素も取り入れられる予定。

プリンセス・クルーズ社長のジャン・スワーツは、次のように述べている。「プリンセス・クルーズの充実した現在のラインナップに、このような素晴らしい客船を新たに追加できることを大変嬉しく思います。『ロイヤル・プリンセス』と『リーガル・プリンセス』は非常に大きな成功を収めており、お客様、旅行会社、報道関係の方々から非常に高い評価を得てきました。この度、姉妹船を1隻追加することにより、さらなる革新的なクルーズ旅の提供を拡大することができます。新造船の発注は、親会社であるカーニバル・コーポレーションが、プリンセス・クルーズ・ブランドを高く評価している証だと考え、非常に嬉しく思います。今回の発注は、カーニバル・コーポレーションが2017年に予定している唯一の新たな発注です。」

新造船の特徴やアメニティー、配船の詳細は、今後発表予定。

フィンカンティエリ社最高経営責任者のジュゼッペ・ポーノ氏は、次のように語っている。「どの発注も弊社にとって大切なものですが、中でも特別な発注があります。この度の発表は、まさに特別な発注のひとつです。フィンカンティエリ社が世界最大のクルーズ造船会社であるのは単なる偶然ではありません。海運史に名を残す『ロイヤル・プリンセス』と『リーガル・プリンセス』という宝石のような2隻の客船を納品した後に、さらにもう1隻、プリンセス・クルーズのような一流ブランド向けに造船できることは大変光栄なことです。弊社は常に未来の船を造ることを目指してきましたが、マーケットリーダーであり世界最大のクルーズ運行会社であるカーニバル・コーポレーションに大きな信頼を寄せていただいたおかげで、長年このように壮大な目標を維持できました。また、クルーズ客船という卓越した技術力が必要な分野において、両社の世界的なリーダーシップを結集することができると思っています。」

プリンセス・クルーズに関する詳細は、プリンセス・クルーズの日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>) もしくは、TEL: 03-3573-3610 まで。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在 18 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、アメニティーの豊富な選択肢を、最上級のサービスとともに提供している。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間 170 万人のお客様を世界中の目的地に向けて、4 泊から 111 泊のクルーズを運航している。プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション & plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK) 傘下の会社である。

プリンセス・クルーズは、2013 年に日本発着クルーズを開始。2 年目となる今年は 4 月から 10 月までの期間、合計 40 本の日本発着クルーズを運航中。2015 年も「ダイヤモンド・プリンセス」による日本発着クルーズを行う。

株式会社カーニバル・ジャパンについて

カーニバル・ジャパンは、世界最大の客船運航会社であるカーニバル・コーポレーション & plc の日本法人として、プリンセス・クルーズ、キュナード・ライン、シーボーン・クルーズのクルーズ商品の販売及び発券、クルーズに関するマーケティング等を行う。